

## 山梨百名山の静かなハイキングコース 兜山～要害山

実施日 2017年5月21日(日)

天候 晴れ

リーダー 石原 勝正

参加者 涌井良明、島本陳重、石附智恵、徳山敬子、小名秀鋭、瀧澤きよの、濱田優美子、児玉章、石原勝正 計9名

費用 JR(高尾起算)2,810円

往復1,330円 計4,140円

タイム 春日居町駅(🚗20分)兜山登山口(9:40-9:50)大岩場入口(9:50-10:50)兜山(11:40-12:00)神峰尾根棚山ース分岐(12:10-12:40)岩堂峠(12:50-13:25)要害山コース分岐(13:26-13:45)要害山(14:05-14:30)要害温泉下山口(14:45-14:50)積翠寺(🚗20分)甲府駅

JR中央本線で春日居町駅に9時6分下車し参加者9人全員合流、無人駅の駅前広場で地元農家の野菜の朝市が開かれているのをのぞきながら、前日予約したタクシー3台に分乗して兜山登山口へ。

山麓に近づくとゴルフ場に沿った車1台がやっと通れるような細い山道を走って登山口に到着。



登山口は車数台が駐車できる広場と公衆トイレがあり、登山準備を整

えて夕狩沢コースの標識に従って登山道に入る。

水の枯れた夕狩沢の支流に沿って樹林の中を10分ほど緩い傾斜を下ると夕狩沢から来る道との合流地点となる大岩場入口に到着。ここから兜



山山頂に向けて左に折れると、道は緩い下りから一変して急登が始

まる。

大岩場入口から樹林帯の中を30分、250mほどの標高差を一挙に上げると鎖場のある岩場地帯になり、傾斜は

さらに厳しくなる。厳しい暑さの中、岩場地帯を抜けて給水タイム



をとり、さらに急登を続けると傾斜が緩くなったところで尾根に沿って進み兜山の標識(913m)のある山頂に到達。



山頂で集合写真を撮るが、樹林帯の中で展望がないため

20mほど離れた展望が開けた場所に移動し、楽しい昼食タイムをとる。

展望台からは約180度全面が開け富士山を右端に望んで、黒岳、釈迦ヶ



岳、節刀ヶ岳、鬼ヶ岳など連なる前面の山々の眺めが素晴らしい。昼食中に本日初めてカップルの登山客に会う。



山頂へ戻り、登山道は北西に繋がる



尾根筋をしぼらく上り、本日の標高990mの最高点(ピーク)を通過し、

棚山に続く神南峰尾根への分岐点まで下って左に折れる。

登山道は更に下って、出発地点の駐車場に向かう兜山周回コースと岩堂峠へのルートに分ける鞍部の分岐点に到達。



そこから登山道を右に折れて岩堂峠に向けて登り返す。

岩堂峠から要害山に向かう途中、甲斐33番観音霊場6番の札所で有名な深草観音堂に参拝。



観音堂は数十メートルの断崖絶壁の途中にあり、参拝するに

は長い梯子を登るか、右の岸壁にある鎖場の回廊(栈道)を利用



する。

深草観音堂から積翠寺に下山する道と要害山への分岐点を右に折れて、要害山に向かう



山道を40分ほど回り込むと、戦国時代の武田信玄公の生誕の場所と伝えられ国の史跡に指定されている山城跡(要害山)に到達する。



要害山)に到達する。

要害山で最後の休憩と恒例の集合

写真を取り、下山口である要害温泉を経由して一般道を歩いて積翠寺に向かう。



積翠寺からはタクシーを利用し甲府駅に到着、全員無事下山し甲府駅で解散となった。

(記&写真・石原 勝正)

(写真提供・涌井 良明)

